

FREE

自分を信じて努力するしか、道はない。

vol.3 JUL-SEPT 2013 OKAYAMA

MOVE UP

SPECIAL INTERVIEW -1-

EXILE SHOKICHI

SPECIAL INTERVIEW -2-

岡山県議会議員 中川 雅子

PHOTO DIARY RADIO JAPAN MOVE UP 公開収録

三代目 J Soul Brothers 山下 健二郎 / 今市 隆二
from EXILE TRIBE

発行人: 酒 眞典 (株式会社 HEADLINE WEST) / 一木 広治 (株式会社ヘッドライン)
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
編集・製作 株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/ビルボン3 403号

TOKYO
HEADLINE
HEADLINE
WEST
MOVE UP

EXILE 日本を元気に! SHOKICHI

THE SECOND from EXILE ボーカル

自分を信じて努力するしか道はない

中学生のころから歌手を目指し、EXILEの新ボーカリストオーディションに応募するも惜しくも落選。その後3度目の正直で、新生J Soul Brothersのメンバーとして活動をはじめ、2年後にはEXILEに加入。そして昨年、EXILE TRIBEの新ユニットとして結成されたTHE SECOND from EXILEのボーカルとしても活動を開始したSHOKICHIが、夢をつかむまでの道のりを語る。(聞き手・一木広治)

がむしゃらに歌手になりたいと思っていた

一木「2度のオーディションに落選し、二代目J Soul Brothersになったのはいつ？」

「忘れもしない2007年の1月25日ですね。会議室でHIROさんに言っていただいたんですけど、当時は自分なりに夢に向かって一生懸命頑張っていたつもりなので、レッスンしていた日々とか、小さいクラブで歌っていた日々とかが走馬灯のように頭の中をよぎり、涙が出るほどうれしかったです。でもそれと同時にすぐにやっぱり、自分へのプレッシャーというものが大きくなってきて“やってやる”っていう気持ちのほうが強くなりました。“憧れ力”っていうと変な表現かもしれませんが、本当のがむしゃらに、歌手になりたいと思って、それだけを目指して毎日生きていたので、その強い思いだけでしたね。自分が目指すビジョンというか、そこに対しての妄想というか、何が何でもそこへ行きたという思いの力が強かったので、何度でもやってやるっていう気持ちでオーディションを受けていました」





EXILE は学びながら表現できる場所

一木「そもそも歌手になりたいって思ったのはいつ？」

「中学校ぐらいになってから、カラオケに行くようになって、歌は好きだなというふうには思っていたんですけど、初めてほかのクラスの教室にギターを持ってきていた人がいて、そのギターを見た瞬間“なんだこのカッコいいものは!?”って思って(笑)。中学時代は、野球ばかりやっていて、いつも泥にまみれていた自分には本当に眩しかった。音楽って、なんてカッコいいんだろうって思って、そこから友達とバンドを組むようになり、ますます音楽にのめり込みました。当時は、GLAYさんとかラルクさんとかめっちゃくちゃ流行っている時代で、僕も中学校2年生の時に初めてLUNA SEAさんのコンサートに行っただけです。わざわざ苦小牧から札幌に2時間ぐらいかけて。そのコンサートを見て、こんなことが世の中にあるんだと思ってしまった。その時に、無理でもいいから絶対にここを目指そうと思ったんです。それから、がむしゃらというか、なんにも考えずただひたすらに夢を追っていました。それでオーディションを受けるのですが、落ちてしまっただけで3度目の正直で二代目J Soul Brothersに選ばれて、そこがまず人生のターニングポイントになりました。そこでHIROさんとちゃんと出会うことができ、人生がガラッと変わった。HIROさんの存在ってすごいんですよ。大げさじゃなく本当に全く別の人生になったと思います。例えばHIROさんは、僕がただがむしゃらに持っていた夢と、それを持つエネルギーのちゃんとした使い道を教えてくれた。ただ単にがむしゃらに持っ

ていたものを、“こっちだよ”っていうふうに導いてくれて、その道を明確にしてくれたんです。そして夢も持つことができました。夢はありましたが、それ以上のもっとたくさんの夢を持つことができましたんです」

一木「そのあとEXILEに加入することになるんだけど、その時の心境は？」

「それが、二代目J Soul Brothersが決まった時とはまた別の何と言うか複雑な心境で…。ものすごく大きな夢がかなったんですけど、逆にEXILEってモンスターグループなので、そこに自分がいるっていうことを想像することが難しかった。自分がそこに入るんだって、頑張ってるって想像して、自分で自分のケツを叩きまくって、早く意識をそっちに持っていかないといけないと焦っていましたね。3月1日までに何ができるかとか、そういう気持ちのほうが大きくて、全然余裕がなかった。新規メンバーとも、“嬉しいよね”とか“良かったね”とか全くなかったですね。それよりも、“俺たち、こうやってないとダメだよ”とか、“こういう意識で臨まないとダメだよ”とかお互いに上げ合っていないと追いついていけない状態だったので、そういうほうが大きかったですね」

一木「EXILEってどんな存在？」

「ひとりで言うなら学びながら自分を表現できる

場所ですね。もともと自分のものではなく、加入させていただいたんですけど、そこに対する責任感っていうのがすごくあるんです。そこにいると気づきとか、HIROさんやみなさんから常に得るものがある。ですから、いろんなことを吸収しながら、それをエネルギーとして発信できる場所です。そういった面ではかけがえのない場所ですし、これからも多分ずっとずっと、こうあり続けるべきだなと思っています」

一木「じゃ、去年から活動しているTHE SECOND from EXILEは？」

「派生グループではありますがEXILEなので、その中でどれだけ可能性を追求して、それを発信できるかというのをひとつのテーマとして持っています。EXILEではあまりやらないアプローチの世界をセカンドでやって、EXILE TRIBEの可能性を広げられる存在でありたいと思っています。それができた時にEXILEがより広くとらえられるし、EXILE TRIBEがもっともっと広い層に、エンターテインメントや元気を届けられるんじゃないかなって思っています」

一木広治 (ICHIKI KOJI) 株式会社ヘッドライン代表取締役社長 / 二十一世紀倶楽部理事事務局長 / ライオンズ日本財団評議員 / 株式会社LDH エグゼクティブプロデューサー / 株式会社ローソン顧問 / 株式会社モブキャストエグゼクティブプロデューサー / アンファー株式会社顧問 / 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事業広報アドバイザー / 淑徳大学人文学科客員教授 (2014年4月～)



人生は巻き戻しも早送りもできない

一木「現在はコンサートツアー『EXILE LIVE TOUR 2013 "EXILE PRIDE"』の真っ最中ですよ。HIROさんもこのライブで、パフォーマーから社長業に専念すると言っていますが…」

「そうですね。個人としてはHIROさんの勇退ということもあって、本当にすべての公演の一瞬一瞬を、HIROさんと踊っているその瞬間を、大切にしようと思わせてもらっています。今回のライブは、EXILEが変動する大変なそして、大事なライブだと思うんです。そして、自分の思いとしては、ここからEXILEが進化していかなきゃいけない時じゃないかと。そういった責任感のもといろいろなことを感じながら、リハーサルにも取り組んでいました。そして、なるべくHIROさんの意見はもちろんです。自分も思ったことを形にできるようにしよう。思っていることが形になるような思い方、考え方ができるように心がけているというか…。とにかくHIROさんの考え方の延

長線上に、自分の意識を持てるようにと思いがら挑ませてもらっています」

一木「すごい前向きですよ」

「どうなのでしょう。周りから見たらポジティブに思われますけど、多分自分の内面的には、特別ポジティブじゃないかも知れない(笑)。何か挑戦する時に悪いこともめっちゃ考えますし…。でも結局やるしかないじゃないですか。人生は進むしかなくて、巻き戻しも早送りもできない。だから何かピンチになった時は、とにかく希望を持つしかないんじゃないかなって思いますね。“ポジティブ”＝“希望を持つ”じゃないですけど、自分を信じるしかない。それしか方法はないと思いがら今まで進んできたように思います。例えば、オーディションに落ちた時にも、信じて努力するしか道はない。そこで一生懸命やっていたら、何か気づきがあって、その気づきとともに、努力や成長がある。そういうふうに、なんとか進むし

かできなかったですね」

一木「いつでも希望を持っているSHOKICHIさんはポジティブだと思うけど。ところで、歌詞も書いているんですよ」

「はい。歌詞は常日ごろ意識しています。“さあ今から歌詞書くぞ”というのではなく、何気ない日常といいますか、景色を見て心が穏やかになったら、その時の感情を書くとか。だから、ポジティブの話じゃないですけど歌詞を書くにあたって、自分はいろんな感情を持っているほうがいいなと思うんです。とことん悲しい感情、切ない感情、落ちた感情、ネガティブな感情も大切なんじゃないかって。それをちゃんと受け入れて、そこからポジティブになった時の道を歌詞にできたら、それって落ち込んでいる誰かのための力になれる歌詞になるのかなって。ですから、常に感情を深く持って、それを言葉にするように、書き綴りますし、これからもそうしていきたいです」

聞いてくれる方の心の拠り所になる曲を作りたい

一木「ところで、8月にTHE SECOND from EXILEの新しいCDがリリースされるんですよ」

「はい。4曲入りで僕はその中の3曲を書きました。すごく元気が出る曲になっています。DJのMAKIDAIさんと一緒にやらせていただいているので、自然な流れでクラブ調といいますか、パーティーソングみたいな楽しいノリの曲になりました。ただアップテンポで元気が出る音楽ではありますが、単に盛り上げようとか、盛り上がるっていうのではなくて、やっぱりEXILEの一員らしく、アッパーチューンで激しくも、そばに寄り添えるというか、何かあった時に心の拠り所になってもらえる曲になればいいなと思って書かせていただきました」

一木「楽しみです。ところで岡山って行ったことがあります？」

「残念ながらないんですよ。行ってみたいんですけど…。ただ、近隣のライブに来て下さった岡山の方から、エネルギーをいただいているのは感じていますので、これからも岡山のみなさんに元気が届くように、全力でパフォーマンスをお届けしたいですね。岡山には行ったことがないのですが、25歳でニューヨークに行ったときに、たまたま岡山の人と知り合ったんです。岡山の情報誌Oseraに“NYのオカヤマ人”というコラムを書かれている延原功さんという方なんですけど、その人からすごく影響を受けました。もともと岡山でシンガーをやっていて、40歳ぐらいの時にカバンひとつでニューヨークに降り立ち、そこで会社を作ったという方なんですけど、ものすごくエネルギーを持っている人なんです。その当時、なんかモヤモヤしていたんですが、それが延原さんに会って、スッと晴れたんです。岡山も晴れの国ですし、岡山って聞くとその人を思い出して、すごく前向きになりますね。だから行ったことはないけど、なんとなく岡山にはいいイメージがあるので、ぜひいつか行ってみたいと思います」



SHOKICHI'S POSITIVE ITEM

いつも前向きな SHOKICHI の気持ちがアガるとっておきのポジティブアイテムを紹介



BOOK

【『絶対成功する千回の法則』 斎藤一人】
人として大切なことを学ぶことができ、すべての出来事を必然ととらえられるようになった、とても前向きな本です。



ITEM

【ランニングマシン】
走って汗をかくとまたリセットできて、気も入り前向きになれます。

【お酒】
お酒は結構好きですね。仲間内やメンバーと飲む時はレモンサワーを飲みます。



MOVIE

【メジャーリーグ】
昔野球をやっているときに見たのですが、明るく、一つの目標に向かって進む姿が自分にも勇気を与えてくれます。



MUSIC

【アッシャー】
昔は彼の曲をこうなりたいと思って聞いていました。

【マイケル・ジャクソン】
すごくメッセージ性も強いので、広い意味でポジティブになれます。

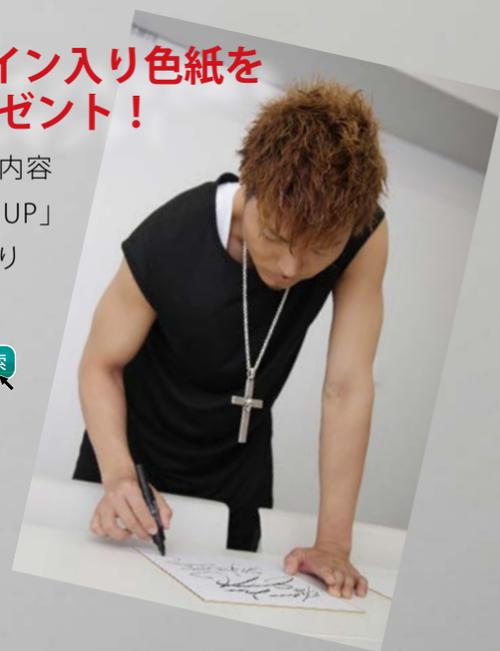
PRESENT

**SHOKICHI のサイン入り色紙を
読者 3 名にプレゼント！**

応募方法などの詳しい内容は「OKAYAMA MOVE UP」公式 facebook ページよりご覧下さい！

OKAYAMA MOVE UP

検索



THE SECOND from EXILE 8月14日 ON SALE !
『SURVIVORS feat. DJ MAKIDAI from EXILE』
『プライド』

異例の2曲ドラマダブルタイアップ&CMタイアップの豪華版。超イケイケのアップチューンを含む全4曲を収録。
CD + DVD 1890円(税込)
CD 1260円(税込)



RADIO JAPANムーブアップ
公開収録 in 岡山

みんなの夢を 追いかけるエネルギーが、日本を

「みんなの夢を追いかけるエネルギー」が、日本を

Go with Brothers

Go with Brothers



OKAYAMA
MOVE UP!
日本を元気に

中川雅子

岡山県議会議員

岡山県議会議員の中川雅子さんは、今年2年目を迎える議員1期生。前職はダンスのインストラクターをやりながら、農園で花を栽培したり、岡山市役所で国体のPRをしたり、そのほかさまざまな経験を積んできた。また街おこしのために祭りや民謡を掘り起こすなど、得意のダンスを通じ、社会貢献も。そんなパワフルな中川さんがダンサー議員としてやっていきたいことを語る。

家族に背中を押されて選挙に出ることを決意

「現在岡山県議会議員1期目です。もともと議員になろうとは全く思っていませんでした。議員になる前は、ダンスの先生をしながら、踊りで地域を元気にしていこうということで、いろいろな地域の民謡や民舞を掘り起こし、お祭りの再考をして、若い人たちにも受け入れられる形にしてから、もともとあったものに返していくという活動をしていました。そんな時に、芸術や芸能、文化の感性を県議会に入れてほしいということでお話があった。選挙って家族を巻き込んで大変と聞いていたので、親が嫌がったら出るのをやめようと思っていましたが、意外にも“人の役に立てると感じたら挑戦してみなさい。議員の声がかかるというチャンスは誰にでもあることではないし、声がかかったということには意味があるんだろうって”父親が言ってくれたことで背中を押されたところもあります。地域を回ってお祭りや街おこしをやっていく中で、行政に対してやってほしいことが出てきたり、私たちが思うことと行政が言うことにギャップがあるなと感じたりしたこともあって、そこが埋まればもっといい方向に動き出すんじゃないか、これは何かのチャンスだからやってみようと思ひ決心しました。ただ、私にとってダンスは人生そのものなので、ダンスとの関わり方に悩みました。模索していく中で、ダンスの先生という立場で、大人や子どもからも自分たちの思いを気軽に話して頂けますし、さまざまな地域を回るきっかけにもなっています。私はダンスというツールで、政治から遠かった人たちの窓を開けられるかもという気持ちを持てたのも大きかったですね」



中川 雅子（なかがわ・まさこ）1975年8月11日生まれ。岡山県岡山市出身。岡山県議会議員／文教委員会副委員長。山陽学園大学 国際文学部卒業。ダンス講師・振付師をしながら、さまざまな職業を経験した後、2011年統一地方選挙にて県議会議員の付託を受ける。現在も現職の他に、岡山の祭り「うらじゃ」の振り付けなど、精力的にさまざまな活動を行っている。また、今秋、全国ロードショー予定のEXILE・MATSU主演の岡山を舞台にした映画『晴れのち晴れ、ときどき晴れ』の振り付けも担当。



来場者が笑顔になれる祭りにしたい

「私がうらじゃに関わってもう14～15年になります。大学時代に放送部に入っていた時に、ある放送局さんが、大学の連合放送部を作って下さり、イベントの勉強をしていたんです。ちょうどそのころよさこいソーランが話題になって。それで、岡山でもあんなエネルギッシュなお祭りを作りたい

ということになり、研修にも行かせていただきました。実際にお祭りにも出させていただいて、その時に感動したのがみんな笑顔だったことなんです。行き交う人たちが笑顔で“頑張ってるね”とかお互いをたたえ合っている。壁が一切なくて、通りがかりの人が挨拶とかコミュニケーションを取りながら街を歩いていることに驚いて。そこに私の基本があるんです。うらじゃは人づくりまちづくりを軸にしています。「共生と融和」。その中で、10回目ぐらいまではチームの参加者も増やして、認知度も上げていっぴしの祭りにしようみたいな夢がありましたし、それに近づいて行っているなという手ごたえもあり、のめりこみました。時折うらじゃは祭りなのかイベントなのか、と悩んだりもしましたが、今感じるのは、踊り子さんと祭りをつくる側がすれ違っているような気

がしています…。思いはきつとひとつのはずなのに、別々の方向から登っているから、ちょっと分かり合えていないような状況が起きているんじゃないかと…。私の願いは来ていただいた方に“うらじゃの踊り子さんたちはずっと笑顔ですごくパワーをもらうよね”って言われるようなお祭りであってほしいと思ったんです。お祭りはいろいろな人が関わって、いろいろな意見があるから、そこでひとつの方向を向いて頑張っていくこと。それは文句を言ったりすることじゃなくて、どうしたらみんなで気持ちよく目標に近づけるのかを模索することだと思うんです。若い人にとっては学校外での教育の場、経験の場にもなっていると思うし、人間的なトレーニングにもなるチャンスや可能性があると思っています」

踊りで人と人の縁を結びたい

「うらじゃでは、うらじゃ音頭という総踊りで踊られる曲があるんですが、その振り付けをさせていただいたんですね。でもどうやって作ったのか、実は覚えていないんです。思いが自然に形になったというか…。でもできた時にみんなで踊ったらすごく楽しくて、瞬く間に広まった。それはきっと無条件に手をつないで踊って、無条件に楽しいからだと思うんです。この踊りを通して人と人がつながるなら、うらじゃの持つ意味は大きいんじゃないでしょうか。そこで感じる楽しいとかワクワクする気持ちとか、みんなを元気にしようという思いが大事なんです。私は「縁」という言葉が好きなんです。みんなの手と手がつながると円になるじゃないですか。うらじゃに来て、うらじゃ音頭を踊って、みんなで円になって、自然と縁が結ばれていく。それでいいかなって思っていますね」

バッチをつける重みとやりがい

以前、とある高校が定員割れなので、なんとかできないかっていう相談を受けたんです。そこは、ある部活動で毎年指導させてもらっていた縁もありましたので、何とかしたいという思いはOBや地域、先生方と同じように感じていました。私はダンスが武器という持ち味なので、それでお手伝いできることがないかなと考えました。民謡をダンスブルな曲にアレンジして、振り付けし、その高校のオリジナルを創ったんです。そしてそのプロジェクトに参加する生徒たちの頑張りを見た多くの大人が感動し、一緒にプロジェクトを進めてくださいました。その踊りを子どもたちがリーダーとなって、各幼稚園や小学校や中学校に教えに行くっていうプログラムを思いつきました。高校のお兄ちゃんやお姉ちゃんが教えに来てくれたことで、あこがれを持ってくれるのじゃないかと。将来その高校にいきたいと思う生徒が増えれば、定員割れを防ぐことにもなると思って、各議員さんはじめ、市長さん、教育長さん、学校長さん



ち、多くの力をお借りしました。みなさん子どもたちのためならって気持ちよく動いて下さいましたが、多分それは、いちダンスの先生が言っただけでは聞いてもらえなかったのではないかと思います。きっと県民の皆様から付託を受けたこの

身だからこそ、耳を傾けてくれたのではないかと。その時にバッチをつける重みを改めて感じましたし、だからこそ、今までの経験に勉強を重ねて、多くの方の知恵と共に動きを創っていきたくて思いました。

ダンスと政治は人の縁を結ぶところが似ている

「踊りの指導を行っていく中で、その人のやる気スイッチみたいなものを押せたらいいなと思ってんです。指導というより、きっかけ作り。引き出したあとは本人でしか伸ばせないと思っているから、必要な時にだけ背中をそっと押すような言葉が出せたらと。だから私はあるレベルにくると、あんまり自分が前に出て踊って見せないんです。ステレオタイプより想像力や、個性を引き出したから。“私はダンスができません”って、子ど

もでも大人でも言う人が多いですけど、でも未来の自分ってどうなっているのか誰も分からない。今の自分が一生続くわけじゃないよって。できる方向に本人も周りも信じて、そっちへ向かえるようにしてあげたい。未来の自分に縁を結ぶんです。政治の世界とダンスの世界は違いますが、縁を結ぶという意味では一緒。人と人、県と市、県と人をつなぐ役割に私が必要なら、そのお手伝いは今後も続けていきたいと思っています」

POSITIVE ITEM

BOOK

『未来は選べる!』

本田健×バシヤール

読んでいてだけでワクワクします。ワクワクしたらウキウキします。すべてよし!と思える気分になる一冊。今まで持っていた概念を打ち破ってくれるようなひと言が散りばめられていて“ああ、そういうことか”って気をラクにしてくれる本。



PLACE

西粟倉。吉井川に流れる源流があるんですが、流れとはいえないほど小さくて、それがあんな大きな川になるかと思うと驚きです。また、そこをもっと上がると木が2つつついている御神木みたいなのがあって、これが素晴らしい。片方の枝がもうひとつの気の穴に入っているんです。陰と陽のバランスというか、人間の営みにも思え感動しました。



MOVIE

『奇跡のシンフォニー』

自然の中から音楽を感じ取る小さな主人公。あきらめという言葉さえ出ないくらい信じるという力を持つことが奇跡につながることで、愛の強さなどをさすがしく描いています。理由理屈なしに大好きな映画。

AROMA

どの香りも好き。気分で選び、ブレンドやお茶の焙煎もします。いい香りを体いっぱい吸い込んで元気をみなぎらせませす。お気に入りには、ペパーミント×オレンジとほうじ茶。



GAME

「桃太郎電鉄」が好きです。いろいろな所にいった気分になれるし、岡山が主役なので、いい気分になれる(笑)。桃太郎ランドをいつ買おうかなとか(笑)。

FOOD

食べることが大好きなので、おいしいものを食べている時が幸せ。もぎたての野菜とか食べたらものすごくテンションが上がります。おいしいトマトを丸かじりしたら、一日中元気いっぱい(笑)。



Be POSITIVE

Culture/Item/Entertainment and more

人に元気を与える人になるには、自分自身が元気でハッピーじゃなきゃ。ムカつくこと、悲しいこと、情けないこと、失敗すること、心が痛くなる出来事…。毎日毎日嫌なことはあるけど、ほんの少し見方を変えて見ることで、気持ちは前向きに立て直せるはず。そんな時、そっと背中を押してくれるさまざまなモノ。友達、家族、ペットなど心許せるモノをはじめ、楽しい映画、ノリノリの音楽、感動的な本など、心に響くものを誰でもひとつ持っている。また、それだけではなく、髪形を変えたり、旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、やってみたかった習い事に挑戦したり、自分を変えてみることで、人生が楽しくなる方法もたくさんあるはず。そんなポジティブになれる最強のカルチャーやアイテムやエンターテインメントなどをご紹介。あなたの気持ちがハッピーになるようなモノに出会えますように。

PLACE

いつかは富士山に登りたい！



富士山がついに世界文化遺産に登録

6月22日、富士山が世界文化遺産登録された。自然遺産ではなく、文化遺産になったのは、古来より霊峰と崇められていた信仰という伝統、また美しいその姿に芸術といった文化的価値が認められたため。さらに、除外になると思われていた三保の松原も一転、あわせて登録されたことも大きな話題となった。7月1日には、世界遺産となって初めての山開きで、多くの登山者が来山。この機会に、日本が世界に誇る名山・富士山の美しい姿を眺め、登山に挑戦してみたら？ なんとといっても日本一の山なのだから、そこから見える景色はきっとあなたの中に大きな力を与えてくれるはず。

BOOK

『スナックさいばら おんなのけものみち バックレ人生大炎上篇』

西原理恵子

ここは女のザンゲ室。働く女性のリアルな悩みに理恵子ママが切り込みます

シリーズ12万部を突破した『スナックさいばら おんなのけものみち』の第2弾は、働く女性に捧げる応援歌。仕事に恋愛、人間関係に疲れ果てても、人生は笑って過ごしたい。くさくさして、やさぐれた気分になった時、ちょっとだけ愚痴を言ってみたくなることだってある。そんな顔で笑って心で泣きながら頑張っている女性に理恵子ママがエールを贈る。69人のセキララな人生に、「分かる分かる」と相槌を打ちながらも、「私も経験したよ」ともっと壮絶な人生を語る理恵子ママ。「立ち向かうな！ バックレろ！」。逃げるが勝ちの人生もあるさと、優しく背中を押してくれる一冊。



【定価】840円（税込）【発行】角川書店

MOVIE

イカブーム到来!?



映画、DVD、特別展などダイオウイカが引っ張りダコ!!

生きたダイオウイカの姿の撮影に初めて成功、16.8%の高視聴率を記録した注目の「NHKスペシャル 世界初撮影！深海の超巨大イカ」が映画化される。“伝説の怪物”と恐れられてきた深海の偉大な王者ダイオウイカをスペシャリストたちが最新鋭の潜水艇と撮影機材を駆使し、おびき寄せることに成功。その映像は放送直後から反響を呼び、映画化が決定した。8月下旬に全国の映画館で上映される劇場版では、テレビで放送されなかった舞台裏なども公開される。また、同番組のDVDとブルーレイもNHKエンタープライズより絶賛発売中。奇跡の瞬間の映像が自宅で繰り返し楽しめる。さらに、10月6日まで、東京・上野の国立科学博物館では、特別展「深海～挑戦の歩みと驚異の生き物たち～」が開催。全長約5mのダイオウイカの標本が展示されるなど、イカブームが到来の予感。ブームの行方に注目だ。

【価格】DVD 2940円、ブルーレイ 3465円（いずれも税込）
©2013 NHK/NEP/DISCOVERY CHANNEL

DVD

逆境だって、なんのその。

『エンド・オブ・ザ・ワールド』

『40歳の童貞男』のステイヴ・カレルと、『パイレーツ・オブ・カリビアン』のキーラ・ナイトレイが共演した世にも素敵な“世界の終わり”の物語。

地球に衝突する小惑星の破壊作戦が失敗に終わり、人類の滅亡は避けられないと分かったその日、ドッジの妻は何も告げずに去っていった。これまでろくに会話したこともなかった隣人の女性・ペニーから、誤配達されたドッジ宛ての手紙の束を渡され、その中に昔愛した女性・オリヴィアからの手紙を発見。ペニーとともにオリヴィアを探す旅に出る。

ザ・ビーチ・ボーイズやフレンチ・キックスなど、全編を彩るロック&ポップスの名曲もポイント。



販売元：TCエンターテインメント 発売中 DVD 3990円（税込）
©2012 Dodge Productions, LLC.

DEGITAL ITEM

「2013年上半期ヒット商品ベスト30」にみる注目のデジタルトレンド

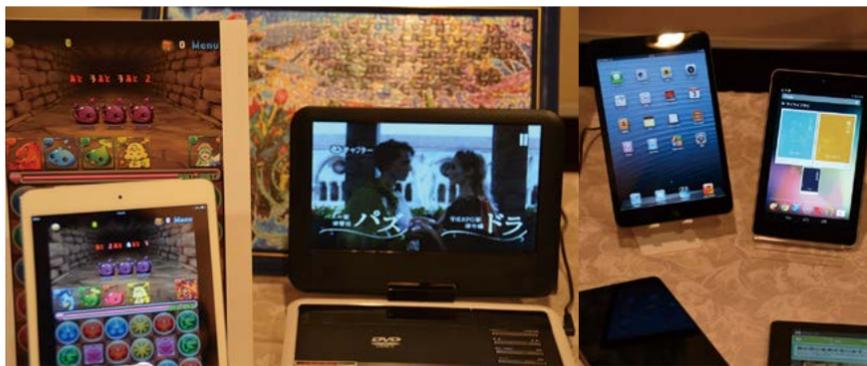
毎年、年間を通じてヒットした商品をランキングで誌面発表している「日経トレンド」が「2013年上半期ヒット商品」を発表。創刊以来、年間ランキングのみの発表だったが、今年はアベノミクスで消費心理が変化し、ブレイクした商品が多かったということで、上半期のランキングも設けられた。ベスト30の中には、デジタル関連グッズも5つ選出されているので、ランキングからデジタルトレンドを振り返ってみよう。

ベスト30のうち、デジタル関連は、ベストテンに4つ入っており、その中の2つは1位の「アベノミクス消費」に続き、2位と3位に選出されている。

まず2位の「パズル&ドラゴンズ」は、昨年10月から利用者が急増、1300万ダウンロードを達成し、日本人の約10人に1人が遊ぶゲームになった。普段ゲームをやらない層にも受け入れられたことがビッグヒットにつながったという。3位の「Nexus 7 & iPad mini」は、「Kindle Fire」も合わせ、タブレット普及の起爆剤になった。昨年1年間の市場規模は前年比191%で、数年前のスマホと似た伸び方をしていることから、1～2年後にはスマホ並みに、普及することが予想される。8位には「ブルー투스機器」がランクイン。スマホ、タブレット市場が拡大したことが大きく影響している。9位は「とびだせ どうぶつの森」。売上は386万本にのぼり、関連書籍も合計で140万部を突破したことも相乗効果となった。そして23位は「マウス型スキャナ MSC10」が選出。マウスとしても使える小型スキャナーは、その手軽さが人気。テレビで紹介されたことをきっかけにブレイクした。

上半期は、アベノミクスで消費の現場が元気になったのをきっかけに、高額商品が動き出したといわれている。しかしやみくもに消費するのではなく、堅実にいろいろな商品を吟味し、いいものは高くても買うという。また、安いものでも普段より少しリッチなもの、無駄だと避けてきた遊びアイテム、あるとうれしい便利アイテムも人気とか。

下半期、これらのアイテムはどうなっているのか。また、消費を刺激しライフスタイルを変化させてしまうような商品が登場するのか。今後もデジタルトレンドに注目だ。



TREND

体の内外から健康に働きかける

炭酸水が人気の秘密

家庭で手軽に作れる炭酸水マシンが発売されるなど、数年前から炭酸がブームだ。しかし、ここにきて、炭酸が健康や美容に及ぼす効果などが実証され始めたことから、改めて炭酸水が見直されている。炭酸水ダイエット、炭酸水温泉、炭酸スキンケアコスメ、炭酸水レシピ、ヘッドスパ、炭酸水洗顔などその使い方や用途もさまざま。美肌、整腸作用、疲労回復、冷え性、新陳代謝の促進、免疫力アップなどの健康効果に加え、肌の傷が治りやすいなど外から働きかける力もあるとか。暑さがますます激しくなるこれからの季節、水の代わりに炭酸水を試してみてもいい。効果のほどはさておき、炭酸水のすっきりとしたポップな泡が気分をしゃっきり上げてくれそう。



EVENT

夏はフェスで盛り上がり！



岡山及び近郊のフェス情報

夏のイベントといえば各地で行われる花火大会や野外フェスが定番。開放感あふれる空間で、自由に音楽を楽しむ。飲んで、踊って、好きなアーティストと同じならすぐに友達、そんなオープンマインドな交流もフェスの醍醐味。常連さんも、初心者さんも自分流のスタイルでフェスに参加してみない？ 気持ちが前向きでハッピーになること請け合いだ。

【岡山】

7月12日・13日 INUJIMA fes XXXX THE JAMBOREE8 (犬島公演犬島キャンプ場)

出演：HIFANA / 七尾旅人 / U-zhaan / Force Of Nature / EVISBEATS / PUNCH&MIGHTY / K.U.D.O. / Teate / COLO / Auto & Tatsuyama Ippei / OLEO / NAGAN SERVER × DJ ARCHITECT × covochang / CS / 聖紅 / SKLAWL

【愛媛】

7月20日 SUN BURST 2013 (寒川豊岡海浜公園ふれあいビーチ)

出演：土屋アンナ / オレンジレンジ など

【山口】

8月17日・18日 WILD BUNCH FEST 2013 (山口きらら博記念公園)

出演：flumpool / マキシマム・ザ・ホルモン / さかいゆう など

【香川】

8月24・25日 MONSTER buSH 2013 (国営讃岐まんのう公園)

出演：清木場俊介 / フジファブリック / グループ魂 など

【広島】

8月31日・9月1日 SOUND MARINA (広島グリーンアリーナ)

出演：山崎まさよし / 華原朋美 / 東京スカパラダイスオーケストラ

ITEM

自宅でプレミアム生ジュースを飲むという贅沢

世界初の真空ジュースミキサー

健康のために、手作り朝ジュースを飲む人が増えている。ただ一口にジュースといってもいろいろあるのをご存知だろうか。栄養成分を壊さないように、低速でゆっくり絞る「スロージューサー」や、繊維を残し、生の栄養を丸ごと摂れる「ミキサー」など、自分の好みにあったものを選んでみる。そんなジュースミキサー市場に画期的な新製品が登場した。

一般家庭用のジュースミキサーにおいては世界初となるテスコムの「真空ジュースミキサー TMV1000」がそれ。文字通り、空気を吸引して真空状態で攪拌するのだ。真空にすることにより、空気に触れることで酸化することを防ぐことができるので、変色や栄養成分の鮮度を保ってくれる。また、空気の気泡がつかないため、口当たりはなめらかですっきりとした味わいが楽しめる。さらに、真空のまま保存できるので、これまで作ったらすぐに飲まなければならなかった生ジュースの作り置きが可能になり、冷蔵庫で冷やして好きな時に味わえるように。新世代のジュースミキサーで美容と健康を守り、元気な毎日を！





この世界を目指したのは、

母の
背中
が

きっかけでした。

ACROSS THE

1 料理人を目指すようになったきっかけ

私が小さいころから母が食堂をやっていて、ずっと手伝いもしていたし、料理をつくることも楽しいなと思っていました。母の背中をずっと見ていて、料理人になりたいという気持ちに自然になっていました。

2 この仕事にやりがいを感じる時

料理をつくる時に、頭の中で味付けなど料理をつくっていて、それがイメージ通りにできたときはうれしいですね。また、今は鉄板焼きなので、対面式で料理をしているのですが、お客様から帰られる際に「ありがとう」「また、来るね」と言葉を頂いたときですね。

3 尊敬している人はいますか？またその理由は。

母ですね。自分の舌に自然に合わせてくれたりして、365日いつ何を食べても本当においしいんですね。逆に自分が毎回お客様においしいと思われるような料理を提供できるよう、努力しなければならないです。本当にいい味付けするんですよ（笑）。

4 料理人にならなければ何をしていたと思いますか？

お笑い芸人ですね。本気で中学3年生の時に友達とNSCに行こうと思っていました（笑）。

5 今後の料理人としての夢

昔から考えていることなのですが、ゆくゆく一線を引いたら、田舎に行って自給自足をしながらかみ家を経営したいですね。水やそこで穫れる野菜がおいしいかなどにこだわってやりたいです。

6 ライバルは誰ですか？

他の人はそれぞれに持ち味があって、そこを追求するより、やはり自分自身ですね。

7 これだけは誰にも負けないというところ

探究心かもしれません。以前に料理開発をやっていたこともあるのですが、何かと何かを掛け合わせて、今までになかったものを作り、完成させることが好きですね。

OKAYAMA

丸本 孝一郎（料理人）

KOICHIRO MARUMOTO

1976年2月18日生まれ。岡山県岡山市出身。金山学園高等学校（現岡山学芸館高校）の調理学科を卒業後、岡山市内の某ホテルに入社し、洋食、鉄板、外食産業などさまざまな経験の後、「鉄板 かや乃」にてシェフを務める。



【鉄板 かや乃】

住所：岡山県岡山市中央町6-8 TEL：086-233-8800



TOKYO

石井康之 (料理人)

YASUYUKI ISHII

1990年1月18日生まれ。東京都大田区出身。
新宿調理師専門学校を卒業後「銀座うち山」に入社。現在に至る。



【銀座 うち山】

住所：中央区銀座2-12-3 ライトビル地下1階

TEL：03-3541-6720

営業：昼11時半～、夜17時～

URL：www.ginza-uchiyama.co.jp

1

料理人を目指すようになったきっかけ

小学生の時、イタリアンレストランで食べたペペロンチーノの美しさに感動したのがきっかけです。この感度、ドキドキやワクワクを人に与えられる仕事ってかっこいいなと思いました。

2

この仕事にやりがいを感じる時

当たり前かも知れませんが、やはり“おいしい”と言って幸せそうな顔をしてくれたり、また来るのを楽しみにしてくれていたたり、この空間自体を楽しんでくれるのを感じた時です。

3

尊敬している人はいますか？またその理由は。

親方です。店を構えた今も新しい食材、よりおいしい食材を求めて探しに行ったり、和洋中問わず勉強をしに行って、より良い調理法を見つけきたりとお客さまを喜ばせようと常に貪欲だからです。

4

料理人にならなければ何をしていたと思いますか？

ミュージカルの劇団員か歌手。歌うのも好きだし、やはり人を感動させたり、楽しませたりできるから。

5

今後の料理人としての夢

自分は料理が好きだと思って調理を目指しましたが、調理師になった今気付いたのは、料理を作ることよりも料理で人を喜ばせるのが好きなんだなということ。ですから美味しい料理を提供するのはもちろんですが、自分の個性を生かした最高のおもてなしをして、テーマパークのように、また行くのが待ち遠しくなるようなお店を作りたいです。

6

ライバルは誰ですか？

自分の目標や夢に向かって毎日全力で生きている人を見ると刺激を受けます。

7

これだけは誰にも負けていない！というところ

仕事中、何をすることも全力です。洗い物をするにしても、魚を卸すにしても、お客様へのサービスでも自分のできる全力を出します。